様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健科学部	リハビリテーション学科　理学療法学専攻（令和４年度以前入学生）	夜・通信	2	5	6	13	13	
	リハビリテーション学科　作業療法学専攻（令和４年度以前入学生）	夜・通信			6	13		
	リハビリテーション学科　理学療法学専攻（令和５年度以降入学生）	夜・通信	3	3	7	13	13	
	リハビリテーション学科　作業療法学専攻（令和５年度以降入学生）	夜・通信			7	13		
看護学部	看護学科（令和３年度以前の入学生）	夜・通信	1		14	15	13	
	看護学科（令和４年度入学生）	夜・通信	2		13	15	13	
	看護学科（令和５年度以降の入学生）	夜・通信	3		14	17	13	
（備考）保健科学部令和４年度以前入学生および看護学部令和３年度以前入学生、令和４年度入学生については、今年度に配置されている授業科目により記載。								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学のホームページ上（四徳学園　情報公開）に公開
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/kikanyouken/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名　なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ上に公開
https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2024/06/2406yakuin.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社社長	2021.2.15 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社社長	2021.2.15 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社社長	2021.4.1 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画書（シラバス）については、毎年 11 月より授業担当者が作成する。その内容は、授業目標、学習目標、授業計画（授業の形式・回数・各回の概要)、テキスト・参考図書の提示、成績評価の方法、履修上の注意点などを記載。 単位認定・成績評価等をまとめた履修手引き及び学則・会則、学生生活に関する事項等をシラバスと併せて冊子にまとめ、「学生便覧」として年度当初に学生全員に配布する。学生には年度当初、「学生便覧」をもとに学年ごとにオリエンテーションを行っている。	
授業計画書の公表方法	大学のホームページ上に公開 保健科学部 https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21RS_Syllabus.pdf 看護学部 旧課程 https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21K_Syllabus.pdf 新課程 https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2022/05/22K_Syllabus.pdf
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

各学生の学修成果を、シラバスで示した評価方法（前後期試験・レポート等）により評価し、予め提示してある成績評価方法・基準に従って単位認定・履修認定を学部の成績判定会議の議を経て学長が行う。
また、４年次の卒業研究では、各自が研究テーマを設定し、指導教官のもと研究を実施する。卒業研究発表会を行い、指導教官以外の教官の判断も加え評価し、保健科学部は、専攻会議で検討し、学部で原案を作成し、卒業判定会議で学長が決定する。看護学部は、学科会議で原案を作成し卒業判定会議で学長が決定する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学習状況を自己評価すること、学修の成果をより明確に表すこと、履修登録に責任を持つこと、を目的として GPA 制度を実施している。
成績評価を S・A・B・C・D に区分、C 以上を合格・単位認定として、それぞれ 4.0・3.0・2.0・1.0 を GP として与える。

総合評価のポイントとは、
GPA = （各教科のポイント(GP)×各科目の単位数）/（履修登録の単位数）で計算する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生に配布する「学生便覧」の「第９　履修に関する事項」⇒「７成績評価」⇒(4)GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度に記載。 併せて大学ホームページ上に公開 保健科学部 https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21RS_Syllabus.pdf 看護学部 https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2022/05/22K_Syllabus.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

建学の精神に基づき、教育研究活動を通じて保健医療分野の専門的・科学的な知識及び実践能力を備え、地域社会に貢献できる医療技術者の育成を目標に掲げ、以下に示した資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与し、卒業を認定している。卒業の判定にあたっては、保健科学部は、専攻会議で検討の上、学部で原案を作成し、卒業判定会議で学長が決定する。看護学部は、学科会議で原案を作成し卒業判定会議で学長が決定する。

保健科学部ディプロマポリシー

1　基礎知識を用いて、論理的に分析・判断し、的確に表現する能力を有する。
2　生命への畏敬の念、人権尊重の態度を有する。
3　人間・健康・社会の関係を広い視野から体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした実践能力を有する。
4　保健医療福祉に関わるチームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。
5　生涯にわたり専門性を高め、継続的に理学療法学・作業療法学を探究する力を有する。

看護学部のディプロマポリシー

1　基礎知識を用いて、論理的に分析・判断し、的確に表現する能力を有する。
2　生命への畏敬の念、人権尊重の態度を有する。
3　人間・健康・社会の関係を広い視野から体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした看護実践能力を有する。
4　保健医療福祉に関わるチームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。
5　生涯にわたり専門性を高め、継続的に看護学を探究する力を有する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学のホームページ上に公開 （トップページ⇒学部紹介⇒保健科学部、看護学部） 保健科学部 https://shitoku.ac.jp/faculty/health/ 看護学部 https://shitoku.ac.jp/faculty/nursing/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
財産目録	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
事業報告書	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/businessproject/
監事による監査報告（書）	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページ上に公開
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/inspection/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　保健科学部　看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学のホームページ上に公開 トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/）
（概要） 長野保健医療大学は、人を慈しむ豊かな人間性と医療に関する高い知識や技能を備える「仁心妙術」の研鑽に励み、本学で得た知識や技能を、すべからく人類愛に基づく世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献する「徳風四海に洽（あまね）く」を礎とした教育理念に基づき、有為な医療人としての知識技能、健康な心身と豊かな人間性を併せ持つ人材の教育を目指し、我が国の社会福祉の充実発展に寄与することを目的としている。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学のホームページ上に公開 トップページ⇒学部紹介 保健科学部　https://shitoku.ac.jp/faculty/health 看護学部　https://shitoku.ac.jp/faculty/nursing）
（概要） 建学の精神に基づき、教育研究活動を通じて保健医療分野の専門的・科学的な知識及び実践能力を備え、地域社会に貢献できる医療技術者の育成を目標に掲げ、以下に示した資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学院を授与し、卒業を認定している。卒業の判定にあたっては、保健科学部は、専攻会議で検討し学部で原案を作成し、卒業判定会議で学長が決定する。看護学部は、学科会議で原案を作成し卒業判定会議で学長が決定する。 **保健科学部ディプロマポリシー** １　基礎知識を用いて、論理的に分析・判断し、的確に表現する能力を有する。 ２　生命への畏敬の念、人権尊重の態度を有する。 ３　人間・健康・社会の関係を広い視野から体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした実践能力を有する。 ４　保健医療福祉に関わるチームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。 ５　生涯にわたり専門性を高め、継続的に理学療法学・作業療法学を探究する力を有する。 **看護学部のディプロマポリシー** １　基礎知識を用いて、論理的に分析・判断し、的確に表現する能力を有する。 ２　生命への畏敬の念、人権尊重の態度を有する。 ３　人間・健康・社会の関係を広い視野から体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした看護実践能力を有する。

４　保健医療福祉に関わるチームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。
５　生涯にわたり専門性を高め、継続的に看護学を探究する力を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上に公開
トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/）

（概要）

保健科学部

理学療法学専攻・作業療法学専攻ともに教養科目、専門基礎科目、専門科目の３つの領域から構成されている。

教養科目では、導入科目、人文科学、社会科学、自然科学、体育学、外国語分野の科目を配置し、社会人としての教養と責任感、コミュニケーション能力、問題解決能力、能動的学習姿勢を身につけ、専門領域への関心と意欲を高めるための広範な科目を学修する。

専門基礎科目では、専門領域の理論および技術の根幹をなし、医療人としての倫理観、社会的責任を培うための科目を学修する。

専門科目では、それぞれの専門領域における理論と実践的技術を学修し活用できるようにするため、実習・演習科目を置いている。

看護学部

１　社会の諸課題についての基礎的知識を学修するために、教養科目に人文科学、社会科学、自然科学、体育学を、専門基礎科目に「人間と環境」、「環境と健康」を配置している。
２　論理的な思考、判断、的確な表現能力を育てるために、教養科目に「大学基礎セミナーⅠ、Ⅱ」、「外国語科目」を配置している。
３　生命への畏敬の念を育て、人権尊重の態度を身につけるため、教養科目に「日本国憲法・法学」、専門基礎科目に「生命倫理」を、多様性や個性を尊重する態度を育てるために、教養科目に「文化人類学」、専門基礎科目に「健康科学概論」を、専門科目では「早期体験実習」を配置している。（旧課程では、専門科目に「ヒューマンケア論」、「ヒューマンケア体験実習」を配置している。）
４　人間・健康・社会の関係を体系的に理解するために、教養科目に「人間関係論」、「文化人類学」、専門基礎科目に「健康科学概論」、「保健医療福祉行政論」を、地域を知るために、教養科目に「信州学」、専門科目に地域・在宅看護論に関する科目を配置している。
５　専門知識・技術を基盤とした看護実践能力を学修のため、専門科目に臨地実習を配置している。
６　看護学研究能力を育成するために、３年次に「看護研究法」を、４年次に「看護課題探究Ⅰ・Ⅱ」を配置している。
７　自律的な学修能力の滋養を目指し、外国語科目を１～４年次にわたり、「英語Ⅰ・Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「医学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（原著医学看護学論文の講読を含む。）を配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学のホームページ上に公開
トップページ⇒入試情報⇒アドミッションポリシー・募集人員
https://shitoku.ac.jp/admissions/admissionpolicy/）

（概要）

保健科学部、看護学部共通

本学学生は、設立の目的に基づき、「ディプロマポリシー（学位授与）」で定めた知識・能力等を「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」で定める教育内容・方法等により卒業までに習得する。そのため、これらの教育に必要な高等学校終了段階の学力を有する人を求める。

本学で学ぶために、以下に示す方針で学生募集及び入学者の選抜を行う。

・大学教育を受けるに相応しい基礎学力がある人：①②
・社会への関心を持つ：①②
・将来への目的意識を持つ：②③
・仲間と協調した行動が取れる：③
・努力する意志がある：②③

丸数字は該当する「学校教育を通して育成を目指す資質・能力」を示す。
①「知識及び技能」　②「思考力、判断力、表現力等」
③「学びに向かう力、人間性等」

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学のホームページ上に公開
（トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報）
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	２人	－					２人
保健科学部	－	６人	３人	４人	６人	人	19人
看護学部	－	６人	２人	５人	９人	３人	25人
共通教養センター	－	１人	１人	１人			３人
地域保健医療センター	－	２人	人	人	人	人	２人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	117人	117人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://shitoku.ac.jp/faculty/teacher/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD・SD委員会として活動を進めている。授業評価アンケート、ハラスメント研修会、新任教職員研修会、業績報告会等を実施している。令和２年度からIPE（専門職連携教育）の充実のため、全教職員対象に研修会を実施している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
保健科学部	80 人	83 人	103.8%	320 人	348 人	108.8%	0 人	0 人
看護学部	80 人	77 人	96.3%	320 人	316 人	98.8%	0 人	0 人
合計	160 人	160 人	100%	640 人	664 人	103.8%	0 人	0 人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
保健科学部	70 人 (100%)	0 人 (0%)	67 人 (95.7%)	3 人 (4.3%)
看護学部	80 人 (100%)	1 人 (1.2%)	73 人 (91.3%)	6 人 (7.5%)
合計	150 人 (100%)	1 人 (0.7%)	140 人 (93.3%)	9 人 (6.0%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（就職先）

■北信

保健科学部（13 施設）

上山田病院、栗田病院、篠ノ井総合病院、新生病院、千曲中央病院、長野赤十字病院、長野中央病院、長野松代総合病院、北信総合病院、介護老人保健施設すめらぎ、デイトレセンター リヴァール長野、（株）ライフケア（放課後デイサービス）、リハライフ須高

看護学部（８施設）

篠ノ井総合病院、千曲中央病院、長野市民病院、長野赤十字病院、長野中央病院、北信総合病院、須坂市役所（保健師）、長野市役所（保健師）

■東信

保健科学部（７施設）

浅間南麓こもろ医療センター、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、くろさわ病院、佐久総合病院、国立信州上田医療センター、国保依田窪病院、NPO 佐久平総合リハビリセンター

看護学部（２施設）

佐久市立国保浅間総合病院、国立信州上田医療センター

■南信

保健科学部（６施設）

上伊那生協病院、信濃医療福祉センター、諏訪共立病院、諏訪湖畔病院、富士見高原医療福祉センター、社会福祉法人プラムの里

看護学部（６施設）

伊那中央病院、昭和伊南総合病院、下伊那厚生病院、諏訪共立病院、諏訪赤十字病院、諏訪広域連合（消防士）

■中信

保健科学部（８施設）

相澤病院、一之瀬脳神経外科病院、県立木曽病院、松本市立病院、丸の内病院、松本中川病院、国立中信まつもと医療センター、特別養護老人ホーム小倉メナー、(株)みらい福祉会(放課後ﾃﾞｲ)

看護学部（４施設）
相澤病院、県立木曽病院、信州大学医学部附属病院、松本協立病院

■県外
保健科学部（９施設）
竹川病院（東京）、さがみリハビリテーション病院（神奈川）、圏央所沢病院（埼玉）、甲州リハビリテーション病院（山梨）、富山県済生会富山病院、国立茨城東病院、渋川医療センター（群馬）、国立高碕総合医療センター（群馬）、国立新潟病院

看護学部（11 施設）
東京慈恵会医科大学附属病院、東邦大学医療センター大森病院、日本医科大学付属病院、国家公務員共済連合会 三宿病院、フレイアクリニック（東京都）
川崎市立川崎病院、北里大学病院、横浜旭中央総合病院（神奈川）、行田総合病院（埼玉）、上越総合病院（新潟）、北九州総合病院（福岡）

（進学先）
看護学部
佐久大学助産師専攻科

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
授業計画書（シラバス）については、毎年 11 月より授業担当者が作成する。その内容は、授業目標、学習目標、授業計画（授業の形式・回数・各回の概要）、テキスト・参考年の提示、成績評価の方法、履修上の注意点などを記載。
単位認定・成績評価等をまとめた履修手引き及び学則・会則、学生生活に関する事項等をシラバスと併せて冊子にまとめ、「学生便覧」として、年度当初に学生会員に毎年配布する。学生には、年度当初、「学生便覧」をもとに学年ごとにオリエンテーションを行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

各学生の学修成果を、シラバスで示した評価方法（前後期試験・レポート等）により評価し、あらかじめ提示してある成績評価区分に従って単位認定・履修認定を教授会の議を経て学長が行う。また、４年次の卒業研究では各自が研究テーマを設定し、指導教官のもと研究を実施する。卒業研究発表会を行い、指導教官以外の教官の判断も加え評価し、教授会の議を経て学長が単位認定をする。

学習状況を自己評価すること、学修の成果をより明確に表すこと、履修登録に責任を持つことを目的して GPA 制度を実施している。成績評価をＳ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄに区分、Ｃ以上が合格・単位認定とし、それぞれ 4.0・3.0・2.0・1.0 を GP として与える。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
保健科学部	リハビリテーション学科	（理学　H31～R4 年度入学生）　134 単位	有・無	単位
		（理学　H5 年度入学生以降）134 単位	有・無	単位
		（作業　H31～R4 年度入学生）138 単位	有・無	単位
		（作業　R5 年度入学生以降）138 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	（R,3 年度以前入学生）124 単位	有・無	単位
		（R4 年度入学生）127 単位	有・無	単位
		（R5 年度以降入学生）126 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ上に公開
（トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報）
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/
大学案内パンフレット（大学説明会、オープンキャンパス等において配布）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
保健科学部	リハビリテーション学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	実験実習費、施設整備費、教材図書費
看護学部	看護学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	実験実習費（2 年目以降は+120,000 円）、施設整備費、教材図書費、

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）長野保健医療大学　独自奨学金　※学部単位での支給

＜新入生対象＞

・特別奨学生Ｓ　４年間の授業料(360 万円)を免除　各学部１名（一般Ⅰ期入試の合格者）

・特別奨学生Ａ　１年次の授業料の 1/3（30 万円）を免除　各学部３名（内訳：一般一期入試の合格者２名、共通テスト利用Ⅰ期の合格者１名）

・兄弟姉妹入学金減免制度　全ての入試区分が対象となり、次の①～③のいずれかに該当する入学生で、入学金の半額 10 万円を入学後に支給。

①学部に兄弟姉妹が在学している入学生

②学部に兄弟姉妹が同時に入学する１名を除いた入学生

③本学または長野医療技術専門学校を既に卒業している兄弟姉妹がいる入学生

・遠隔地奨学生　１年次授業料のうち 10 万円を免除　各学部３名（下宿生・遠距離通学者）

＜在学生対象＞

・特別奨学制度Ｂ　半期授業料の 1/3（15 万円）を免除、新２、３年生より各学年１名

・家計急変者等援助　年度授業料の 1/3（30 万円）を上限として免除　若干名

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

国家試験合格に向けての対策講座、一人ひとりへの支援の充実により、高い合格率の維持継続を目指す。

４年間をとおしたキャリア形成教育、専任教員による支援などをとおして、一人ひとりに寄り添った就職サポート体制を構築している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

健康管理センターが適時適切に情報を発信するとともに、学生の心身の健康状態の把握、健康指導等を実施している。

また、学生が学生生活を送る上で生じた困り事や悩み事、各種ハラスメント、合理的配慮等に対処することができるよう、今年度新たに学生相談室を設置した。

教員が学生の自由な来室に対応するため、オフィスアワー制度を実施。専攻に関わらず学生は教員に相談することができる。保健科学部は学年ごとにクラス担任が、看護学部は少人数のグループごとにアドバイザーが付き、学生の様々な相談を受ける体制を取っている。

さらに、公認心理師が１ヶ月に３回程度の割合で来学し、学生へのカウンセリングを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：長野保健医療大学リポジトリとして紀要を公開
https://nuhm.repo.nii.ac.jp